

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : University of Manitoba

**留学期間** : 平成 26 年 9 月 1 日 ~ 平成 28 年 9 月 1 日

今回の留学では、英語が話せるようになっただけでなく、カナダは移民の国なので、世界中の人と会うことができました。普通に日本で暮らすだけでは学べない他国の異文化や、旅行先での新しい経験ができました。時には理解できなかった文化の違いも、たくさんの人と知り合うにつれてだんだん理解し受け入れることもできるようになりました。

ウィニペグはカナダのマニトバ州にある小さな内陸の町で、真冬の一番寒い時期には-40度まで気温が下がり凍てつく寒さの日々が1, 2週間ほど続きますが、夏は日本のようにジメジメしないカラッとした気候で非常に過ごしやすい気候です。春が来るのは大阪よりもずいぶん遅いですが、秋は早く来ます。街の中に木々が多いので紅葉の時期は鮮やかな赤、黄、茶色に染まり、公園はもちろん、住宅街もとても美しいです。

学校ではたくさんの人種の生徒が英語で授業を受けます。私は一年目は、ほかの多くの生徒がそうしているように University 1 という一般教養を受けました。授業料はカナダ人と永住権保持者は私のようなインターナショナルスチューデントのほぼ三分の一の金額で、とるコースによっても値段は変わりますが大体インターナショナルスチューデント価格では日本の私立大学の年間の学費とかわらないくらいでした。日本の大学と大きく変わった点として、学費のほかにカナダの寒い気候にあわせた校舎のつくりや、教科書を買えるシステムがあります。校舎のつくりは、主に Faculty によって建物が分かれており広大な大学敷地内に拡散されており、地下がすべてトンネルのようにつながっていて、寒い冬は外に出て校舎から別校舎へと移動しなくてもいいようになっています。また教科書を買えるシステムがあり、前年度に使った unnecessary 教科書を生徒に売ったり、授業に必要な教科書を安く買い取ることができます。

Student VISA はフルタイムスチューデントであれば一週間 20 時間、夏休みと冬休みのような大型の休みには、40 時間アルバイトができるので、私は大学構内にある Tim Horton's という大型チェーンのドーナツ屋でアルバイトをしました。またアルバイトを通してたくさんの方々と出会い、カナダで仕事をすることは日本でするのは違いますし、もちろん英語をさらに伸ばすいい機会となりました。初めはどういった決まり文句があるのかという勉強から入り、そして仕事で必要な技術を得て、仕事仲間と共に一生懸命に仕事を頑張りました。マニトバ州の今現在の最低賃金は時給 \$ 11.70 で大阪に比べて高いのと、日本よりも従業員にたいする社会保障や仕事をする環境、ルールはしっかりしていると思いました。

社会保障の面では、消費税がマニトバ州では 13% と日本に比べ高い分充実していると思います。例えば医療は特殊な治療などは除き、一般の診察や治療は無料です。ほかにも子供手当の金額が日本に比べてとても高いのと、州から国民が受けられるサービスがたくさんあり、本当にカナダは住みやすい国だなと感じました。そういった住みやすさからウィニペグで出会ったほとんどの日本人の方々は移民目的で移

り住み、さまざまな場で活躍されています。移民の主な方法としては、マニトバ州には Manitoba Provincial Nominee Program という移民サポートプログラムがあり、たくさんの方がそれを利用し1年半から2年程かけて永住権を取得されます。移民サポートプログラムは各州によって方法、ルールが変わっており、British ColombiaやOntarioのような大きな主要都市がある州は年々永住権の取得が難しくなっているようです。その中でマニトバ州はまだ人口が少ないなどの理由で比較的、永住権が取得しやすい移民の町となっているようです。

食べ物はやはり移民の国なので、スーパーマーケットでは ethnic aisle があり、中国、韓国をはじめ、インドや他のさまざまな国の食材を取り揃えたコーナーがあったり、Asian Super Market という日本の食材もたくさん取りそろえた特別なスーパーマーケットも何件ありました。同じ商品でも日本で買う時の約3倍で売られています。ウィニペグではバンクーバーやトロントのような大きな都市に比べて日本食屋も少なく、日本人が経営する飲食店はまだ数件しかありません。韓国人や中国人が経営する日本料理店もいくつかあるのですが、おいしくなかったり、日本では見ない食べ物を置いていたりしたのであまり行きませんでした。

大学で親元を離れ住むことにより、自立することができたと思います。自分で学費を払い、生活のためにアルバイトをしながら、人とのつながりを深め、一人の大人として日々成長することができました。最初は自分で料理なんて全くできなかったのに、カナダで買えないような総菜パンから、和風ドレッシングなどすべて手作りできるようになりましたし、仕事場での責任も大きくなり、家事と両立しつつ、周りの人と交流を深め充実した生活を送ることができました。ここで得た経験は今後の人生に大きな影響を与え、これからも周りの環境に感謝しながら一生懸命、日々精進していきたいと思います。今後大阪府の国際化に協力できるような人材となり、また自分自身もさらに国際化したいと考えております。